

議 事 録 要 旨

会議名	第3回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
日 時	令和4年3月3日（木） 19:30～20:15
場 所	中央公民館 多目的ホール
出席者	<p><部会員> 市民／笹原修之（部会長）、八木康史、高木めぐみ、西田幸男 福井工業大学／川島洋一（教授） あわら市文化協議会／堀田あけみ あわら市商工会青年部／松川秀仁 福井県農業協同組合／深町治男 芦原温泉旅館協同組合／山口賢司 （一社）あわら市観光協会／津田香由紀 音泉組／青柳淳一 農家カフェ／藤井和代 ゲンキッズステーション ASOVIVA!／長田康秀</p> <p><事務局> 土木部／西川理事 新幹線まちづくり課／山本課長、翠補佐、木村主査 観光振興課／赤神補佐、牧野職員 商工労働課／中村補佐</p>
欠席者	<p><部会員> 市民／森嗣一郎</p>
内 容	<p>1 開 会 <u>事務局：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回9月開催の部会では、次回の開催は未定としていたが、今回開催となった趣旨を説明 <p>「芦原温泉駅まちづくりデザイン部会」には、親会にあたる「あわら市地域ブランド戦略会議」という組織があり、この組織が、「ある一定の目的を達成した」ことから解散する方向で、現在調整をしている。</p> <p>本日急遽開催したのは、この親会の解散予定に伴い、この部会も一旦解散になるというお知らせと、「(賑わい施設) アフレア」の進捗状況などの報告のためである。</p> <p>本日まで、いろいろなポジションで、また、その時々メンバーで駅周辺の計画に携わっていただいた。</p> <p>令和4年度以降についてもアフレア運営に関する事で、別な形で、可能な限り皆さんにもメンバーとしてご協力をお願いしたいと考えている。</p> <p>この会の任期(2年)につきましても、一応令和4年3月31日までとなっている事もあり、一旦解散をさせていただく。</p>

2 報告事項

(1) デザイン部会の今後の方向性について

事務局：

- ・当日資料を基に、説明
- ・秋に（仮称）アフレア活性化委員会を設立するので引き続き委員の一人として駅周辺の活性化についてご協力いただきたい。

(2) 賑わい施設「アフレア」整備内容の見直しについて

事務局：

- ・資料1～3を基に、説明

(3) 「アフレア」のロゴデザインについて

事務局：

- ・資料4を基に、説明
- ・①をベースに書体や色等について今後検討していく。

事務局：

- ・何か意見があればお願いします。

部会員：

- ・魅力体感施設にキッズスペースを設置するが、何も置かないのか。

事務局：

- ・キッズスペースの内容については、今後検討していくが、県内の施設を見ると滑り台と壁にボルタリングホールドがおおよそどの施設にもある。同じようにとはいかないが考えていきたい。

部会員：

- ・今の子どもたちは体の使い方が以前に比べ上手ではない。この場所でしかできない運動ができるようにして欲しい。（例えばのぼる、ぶら下がる、跳び下りるなど）安全に遊べ、あわらや福井をイメージできるような場所であるとよい。

事務局：

- ・ASOVIVA！で行っている活動も参考にしたいと思っているのでまたご相談させていただきたい。

部会員：

- ・現状の魅力体感スペースを縮小してキッズスペースの設置するのか。魅力体感スペースが狭くなり、各ブースの魅力が損なわれるのではないか。

事務局：

- ・魅力体感スペースの機能は維持したいが、スペースを縮小することで当初の予定より設置しないものも出てくる。

部会員：

- ・一般社団法人はどのような業務を行うのか。

事務局：

- ・建物の維持管理だけでなく、イベントのスケジュール管理やプロモーション等を行っていく。(仮称) アフレア活性化委員会の事務局も後々一般社団法人に任せの方が効果的に施設運営をできると考えている。

部会員：

- ・魅力体感スペースの内容が古く感じる。VRを活用するなど動的なものにするとよい。

事務局：

- ・以前の部会でも様々なご意見をいただいている。見直しのいい機会だと思い、意見が反映できるよう努力していきたい。

部会員：

- ・見るだけか。

事務局：

- ・あわら温泉をイメージしたブースでは、インタラクティブ映像を導入し、遊び感覚で楽しめる装置を設置するなど体感できるものも考えている。

部会員：

- ・売らない店舗 (QR コードで購入できるページ等を紹介する) みたいなことはできるのか。

事務局：

- ・現在、想定していないが、検討していきたい。

部会員：

- ・せっかく色々で紹介しているので購入できる場所等を示すことができるとよい。

部会員：

- ・アプリ導入もよいと思うし、予算がないのであれば小さな冊子を置くこともひとつの手である。

3 部会長あいさつ

部会長：

- ・資料だけではわからない点がパースで示されると更なる気づきがでてくる。観光客が楽しめるような「アフレア」になるようにしていきたい。来年度皆さんにお声がけすることになるアフレア活性化委員会という組織ができる予定である。前回にもあったが、皆さんの各団体が年間を通じてできることをこの場所で企画して行っていけるとよい。来年度はより具体的な内容になっていくと思う。

また気づいた点があれば事務局に問い合わせていただきたい。

長年にわたりご協力いただきありがとうございますありがとうございました。

4 閉 会